



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 ブルドックソース株式会社
 コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 章子
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 佐藤 貢一
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3668-6811

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	12,592	0.7	617	△12.1	922	3.6	609	8.3
27年3月期第3四半期	12,509	0.1	702	△6.6	890	△2.6	563	5.5

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 1,031百万円 (△15.0%) 27年3月期第3四半期 1,214百万円 (10.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	8.92	—
27年3月期第3四半期	8.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
28年3月期第3四半期	24,401		18,377		75.3	268.95		
27年3月期	23,703		17,585		74.2	257.35		

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 18,377百万円 27年3月期 17,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	1.50	—	2.00	3.50
28年3月期	—	1.50	—		
28年3月期(予想)				2.00	3.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	16,600	0.9	800	△1.6	1,000	△8.2	700	5.7	10.24	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	69,774,401 株	27年3月期	69,774,401 株
28年3月期3Q	1,441,648 株	27年3月期	1,441,004 株
28年3月期3Q	68,332,991 株	27年3月期3Q	68,334,130 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、回復基調にあるものの米国の利上げの影響や中国経済の減速など先行き不透明な状況が続いております。企業においては、良好な収益環境が継続しているものの、設備投資などはいまだ慎重な姿勢がうかがえ、また家計においては、雇用環境は改善しているものの、賃金の伸びが限定的な状況が続いており、個人消費は勢いを欠く状況となっております。

当社グループは、引き続き安全・安心・信頼できる企業であり続けることを大前提に「幸福感を味わえる商品の提供」を理念に掲げ、主力商品であるソース類の価値の向上や国内外における認知向上、及び業務用市場における新規開拓を進めてまいりました。

ソース類事業の家庭用商品につきましては、ブルドックソースでは、家庭で専門店の味が手軽に楽しめる「本格お好みソース」「本格焼そばソース」「本格たこ焼ソース」などの専用ソースにつきまして、学園祭応援企画や、店頭プロモーションを継続実施した結果、売上が順調に推移しました。また、11月には一人でも多くの方にお好み焼のおいしい焼き方を知っていただき、お好み焼文化の定着化を図るため、につぼんお好み焼き協会主催の「第3回お好み焼き検定 上級」「第7回お好み焼き検定 初級」に協力させていただきました。また、7月にはミラノ万博にあわせて同市内で開催された見本市「ジャパンサローネ」にて箸で食べる和食 とんかつ「東京とんかつ」を当社とんかつソースとともに試食提供し、ソースで食べる日本のとんかつの美味しさをミラノの方々に体験していただきました。さらに今後東京オリンピック開催に伴う外国からの観光客の増加を見据え、8月31日から10月31日まで、ミラノ万博・日本館レストランでは「Premium Pork Cutlet TOKYO TONKATSU」と銘打ち、日本産の豚肉を使用したとんかつがメニューに加わり当社とんかつソースを添えて提供いたしました。日本産の豚肉の美味と、とんかつソースとの美味しいコラボレーションで、日本食「TONKATSU」を広く世界各国の皆様にお伝えすることができました。イカリソースにおいては、平成27年8月と9月に発売した「イカリゆずのポンたれ 220」「イカリ怪味鶏のたれ 225」「イカリしょうが焼のたれ 225」及び「イカリウスターソース」「イカリ中濃ソース」「イカリとんかつソース」が好評をいただいております。

業務用商品につきましては、ブルドックソースでは、10月に磯の味わいと香りで、あわびの肝の風味を堪能できる新しい調味料「ブルドック 万能あわびの肝海鮮塩だれ 1,050g」を発売し、既存の業務用ソース1Lシリーズのラインナップを拡充しました。また、業務用プライベートブランド商品を中心に外食産業のユーザーや中食・惣菜・加工用ユーザー等に対する新規メニュー提案や新規顧客開拓を引き続き積極的に行い、売上は順調に推移しました。イカリソースにおいても、引き続き「地元 関西の味」をベースとしたメニュー提案を行い、新規顧客の開拓に努めてまいりました。

一方、原材料・副資材は、円安等による輸入原材料価格の高止まりが続いており、特に野菜・果実、香辛料の価格上昇が顕著で、今後もこの傾向は続くことが予想されます。当社グループでは、業務の効率化やコスト削減に取り組み、現状価格の維持に努めてまいりましたが、今般、企業努力だけではコスト増を吸収することが困難な状況と判断し、ブルドックソースの商品に関しては8月1日から25年ぶりの価格改定を行い、イカリソースの商品に関しては9月1日から、改定させていただきます。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は125億9千2百万円（前年同期比0.7%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は原材料価格の上昇や販売促進費の増加などにより6億1千7百万円（前年同期比12.1%減）となりましたが、経常利益は投資有価証券売却益などにより9億2千2百万円（前年同期比3.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億9百万円（前年同期比8.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億9千8百万円増加し、244億1百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が減少したものの、受取手形及び売掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて1億5千8百万円増加し、92億1千8百万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べて5億3千9百万円増加し、151億8千3百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて9千4百万円減少し、60億2千4百万円となりました。

流動負債につきましては、その他に含まれる未払金の減少などにより前連結会計年度末に比べて4億7千5百万円減少し、34億2百万円となりました。

固定負債につきましては、繰延税金負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べて3億8千1百万円増加し、26億2千1百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて、7億9千2百万円増加し、183億7千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年10月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,134	3,757
受取手形及び売掛金	4,135	4,655
商品及び製品	448	429
原材料及び貯蔵品	85	117
仕掛品	30	27
繰延税金資産	171	168
その他	54	62
流動資産合計	9,060	9,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,011	1,943
機械装置及び運搬具(純額)	1,182	1,094
土地	2,711	2,711
その他(純額)	87	83
有形固定資産合計	5,991	5,832
無形固定資産		
	19	8
投資その他の資産		
投資有価証券	8,001	8,695
その他	683	698
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	8,632	9,341
固定資産合計	14,643	15,183
資産合計	23,703	24,401

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,666	1,817
1年内返済予定の長期借入金	279	86
未払法人税等	236	142
未払費用	1,039	1,021
賞与引当金	179	86
その他	475	247
流動負債合計	3,878	3,402
固定負債		
長期借入金	320	460
繰延税金負債	905	1,115
退職給付に係る負債	822	851
長期未払金	166	166
その他	25	27
固定負債合計	2,239	2,621
負債合計	6,118	6,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	12,586	12,957
自己株式	△535	△535
株主資本合計	15,660	16,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,920	2,348
退職給付に係る調整累計額	4	△1
その他の包括利益累計額合計	1,924	2,347
純資産合計	17,585	18,377
負債純資産合計	23,703	24,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	12,509	12,592
売上原価	6,104	6,146
売上総利益	6,404	6,446
販売費及び一般管理費	5,702	5,829
営業利益	702	617
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	125	140
投資有価証券売却益	65	166
その他	4	7
営業外収益合計	194	315
営業外費用		
支払利息	6	5
その他	0	3
営業外費用合計	7	9
経常利益	890	922
特別損失		
固定資産除却損	9	2
災害による損失	—	8
特別損失合計	9	11
税金等調整前四半期純利益	881	911
法人税等	318	301
四半期純利益	563	609
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	563	609

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	563	609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	655	428
退職給付に係る調整額	△4	△6
その他の包括利益合計	651	422
四半期包括利益	1,214	1,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,214	1,031
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ソース類の製造販売事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため記載を省略しております。